

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東  
コード番号 3696 URL https://ceres-inc.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 TEL 03-6455-3756  
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	6,718	21.6	1,255	159.7	713	181.2	1,140	224.0	832	313.8
2023年12月期第1四半期	5,525	17.3	483	△37.6	253	△57.3	352	△46.5	201	△48.4

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 899百万円 (238.6%) 2023年12月期第1四半期 265百万円 (△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	72.93	—
2023年12月期第1四半期	17.67	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. EBITDA=税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	27,911	11,307	35.1
2023年12月期	25,915	10,045	35.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 9,810百万円 2023年12月期 9,184百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	12.2	2,500	46.4	1,600	43.1	2,000	64.2	1,200	166.0	104.48

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合、除外 1社 （社名）  
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	11,984,500株	2023年12月期	11,984,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	571,281株	2023年12月期	571,232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	11,413,251株	2023年12月期 1 Q	11,385,204株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間においては、売上面ではモバイルサービス事業において、当社グループが運営するポイントサイトであるモッピーが会員数の増加等により引き続き好調に推移いたしました。また、化粧品・ヘルスケア商品等を取り扱っているD2Cは前期からのヒット商品の牽引により大幅増収となりました。取引先企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)支援を行う連結子会社ゆめみは大口案件の端境期に入っている影響等により、減収となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、ブロックチェーン関連事業を行う連結子会社マーキュリーやオンラインファクタリングサービスを提供している連結子会社ラボルの順調な成長に加えて、投資育成事業において営業投資有価証券の売却を行ったことにより大幅増収となりました。

利益面では、DXでの減益があったものの、モッピーにおける粗利率改善やD2Cでの販売好調により、モバイルサービス事業において大幅増益となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、各事業が好調に推移したことによる増収により、損失幅が縮小しております。また、持分法適用関連会社であるビットバンクは暗号資産価格の上昇に加え、暗号資産市場の活況により好業績となり、持分法による投資利益が前年同期比で大きく増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,718百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は713百万円(同181.2%増)、経常利益は1,140百万円(同224.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は832百万円(同313.8%増)となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは1,255百万円(前年同期比159.7%増)となりました。当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失で算出しております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトであるモッピーや自社アフィリエイトプログラムAD.TRACK等から構成される「ポイント」、化粧品・健康食品等の企画・製造・販売を行う「D2C」、及び連結子会社ゆめみが手掛ける企業のDX化支援サービス「DX」で構成されております。

「ポイント」においては、引き続きサイトやアプリの継続的な改良等を行うとともに、各種キャンペーン等の施策を実施してまいりました。また、AD.TRACKとの連携を進めたことにより利益率も改善しており、増収増益となりました。なお、モッピーの会員数は堅調に推移し、当第1四半期連結会計期間末の会員数は526万人(前年同期比15.6%増)となり、アプリの累計ダウンロード数も468万件(同45.8%増)に達しております。

「D2C」においては、機能性インソール「ピットソール」の販売好調の継続に加えて、定期販売商品も好調に推移しており増収増益となりました。

「DX」においては、大口案件の端境期による稼働率低下に加えて、前年からの人材投資に伴う人件費増により減収減益となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は6,275百万円(前年同期比18.1%増)、セグメント利益は1,119百万円(同63.1%増)となりました。

#### フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連、オンラインファクタリングサービス、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、マーキュリーが運営するステーキングサービス「CoinTradeStake(コイントレードステーク)」が順調に推移し、暗号資産価格の上昇の影響もあり、損失幅が縮小いたしました。また、オンラインファクタリングサービスにおいては、フリーランス向けAIファクタリングサービス「labol(ラボル)」や、カード決済サービス「labol(ラボル)カード払い」が好調に推移いたしました。さらに投資育成事業では、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立し、営業投資有価証券の売却を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は447百万円(前年同期比104.8%増)、セグメント損失は54百万円(前年同期はセグメント損失137百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,996百万円増加し、27,911百万円となりました。これは主に現金及び預金が683百万円、有形固定資産が322百万円、関係会社株式が374百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ734百万円増加し、16,603百万円となりました。これは主に買掛金が262百万円、短期借入金が221百万円、資産除去債務が115百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加し、11,307百万円となりました。これは主に利益剰余金が604百万円、非支配株主持分が635百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の実績を踏まえて、2024年2月9日に公表いたしました2024年12月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年5月2日に公表いたしました「営業外収益の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,112,206	8,795,965
受取手形、売掛金及び契約資産	3,643,349	3,318,226
営業投資有価証券	2,976,200	2,985,114
商品及び製品	384,326	545,031
仕掛品	76,619	158,496
原材料及び貯蔵品	93,741	55,092
その他	2,339,178	3,095,808
貸倒引当金	△38,658	△58,490
流動資産合計	17,586,962	18,895,245
固定資産		
有形固定資産	361,668	684,292
無形固定資産		
のれん	1,537,615	1,486,209
その他	192,068	254,196
無形固定資産合計	1,729,683	1,740,405
投資その他の資産		
関係会社株式	3,194,221	3,568,642
その他	3,046,278	3,027,603
貸倒引当金	△3,728	△5,082
投資その他の資産合計	6,236,771	6,591,163
固定資産合計	8,328,123	9,015,861
資産合計	25,915,085	27,911,106
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	783,868	1,046,191
短期借入金	3,413,000	3,634,000
1年内返済予定の長期借入金	1,635,478	1,702,518
未払法人税等	246,857	239,762
ポイント引当金	3,921,484	3,876,183
賞与引当金	-	15,260
役員賞与引当金	30,000	-
本社移転費用引当金	40,781	40,781
資産除去債務	88,100	88,100
その他	3,291,877	3,630,491
流動負債合計	13,451,447	14,273,288
固定負債		
長期借入金	2,314,085	2,146,123
資産除去債務	-	115,467
その他	103,724	68,724
固定負債合計	2,417,809	2,330,315
負債合計	15,869,257	16,603,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,046,390	2,046,390
資本剰余金	2,567,845	2,567,845
利益剰余金	4,719,572	5,323,685
自己株式	△307,818	△307,896
株主資本合計	9,025,991	9,630,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,312	180,183
その他の包括利益累計額合計	158,312	180,183
新株予約権	1,266	1,266
非支配株主持分	860,258	1,496,027
純資産合計	10,045,828	11,307,502
負債純資産合計	25,915,085	27,911,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,525,486	6,718,358
売上原価	3,346,356	3,425,892
売上総利益	2,179,130	3,292,466
販売費及び一般管理費	1,925,522	2,579,229
営業利益	253,607	713,237
営業外収益		
受取利息	300	103
持分法による投資利益	109,525	370,844
投資事業組合運用益	-	56,984
その他	6,350	10,348
営業外収益合計	116,177	438,281
営業外費用		
支払利息	5,377	7,555
投資事業組合運用損	9,603	-
その他	2,724	3,249
営業外費用合計	17,706	10,804
経常利益	352,078	1,140,713
特別損失		
本社移転費用	-	11,703
特別損失合計	-	11,703
税金等調整前四半期純利益	352,078	1,129,010
法人税、住民税及び事業税	121,398	231,047
法人税等調整額	△20,536	19,849
法人税等合計	100,862	250,897
四半期純利益	251,215	878,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,057	45,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,158	832,378

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	251,215	878,113
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	14,789	18,293
持分法適用会社に対する持分相当額	△175	3,576
その他の包括利益合計	14,614	21,870
四半期包括利益	265,829	899,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,772	854,248
非支配株主に係る四半期包括利益	50,057	45,735

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、Apolo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、Apolo Capital 1号投資事業有限責任組合は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,306,946	218,540	5,525,486	-	5,525,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,934	-	7,934	△7,934	-
計	5,314,880	218,540	5,533,421	△7,934	5,525,486
セグメント利益又は損失 (△)	686,077	△137,627	548,449	△294,842	253,607

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,842千円は、セグメント間取引消去1,678千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△296,520千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,270,873	447,485	6,718,358	-	6,718,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,571	-	4,571	△4,571	-
計	6,275,444	447,485	6,722,929	△4,571	6,718,358
セグメント利益又は損失 (△)	1,119,154	△54,684	1,064,470	△351,232	713,237

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△351,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。